

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 木・4・5	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	長崎蘭学 Nagasaki Rangaku(Dutch Studies in Nagasaki)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 総合科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 嶋津 拓 / Eメールアドレス: shimazu@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 留学生センター /TEL: 819-2238(内線 2238) / オフィスアワー: 水曜日 2・4校時			
担当教員(オムニバス科目等)	相川忠臣、勝俣 隆、川口敦子、柴多一雄、原田博二、ファンダーレン、姫野順一、本馬貞夫、芳本 忠、若木太一		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>授業のねらい: 長崎を舞台とする日蘭交流は 17 世紀から現在に至るまで長い歴史を持っている。貿易だけでなく、西洋文化や西洋科学を受け入れる基盤としての「長崎蘭学」の成立とその発展の歴史を日本人学生とオランダ人学生が共に学ぶことで、異文化交流を体験する。</p> <p>授業方法: 講義形式。この講義では日本人学生とオランダ人学生(ライデン大学日本学科の学生)が共修する。</p> <p>授業到達目標: 長崎で発展した「長崎蘭学」の概要を理解する。また、留学生センター科目「長崎蘭学演習」への橋渡しを行う。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要)			
<p>第1回 長崎蘭学について/長崎蘭学概論 第2回 長崎蘭学概論 第3回 阿蘭陀通詞 第4回 南蛮医学と紅毛医学 第5回 長崎蘭学と歴史教科書 第6回 日蘭独交流の一側面 第7回 本草学から自然科学へ 第8回 キリシタン版と長崎 第9回 幕末の対外危機と佐賀藩 第10回 オランダと日本文化 第11回 第1次海軍伝習 第12回 第2次海軍伝習 第13回 日蘭交渉史の研究を振り返る 第14回 薬学史 第15回 まとめ</p> <p>講師の都合によっては、講義の題目または内容の変更がありうる。</p>			
キーワード	長崎蘭学		
教科書・教材・参考書	プリント教材		
成績評価の方法・基準等	小論文 80%、講義参加の積極性 20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	本科目は4校時目と5校時目に連続して開講される。必ず両方に出席すること(一方のみの参加は認めない)。また、開講期間は4月10日~5月22日であり、学期の途中で終了することに留意すること。なお、留学生センターは5月29日から日蘭共修科目「長崎蘭学演習」を開講するが、同演習科目の受講を希望する学生は、この「長崎蘭学」を必ず履修すること。		
備考(準備学習等)			